

New Energy Partner

明日のエネルギーをあなたと創る

地域脱炭素・GXの九州エリアでの取り組みについて

株式会社アイ・グリッド・ソリューションズ
執行役員CTO 岩崎 哲





会社概要：アイ・グリッドグループ



VPP JAPAN
i GRID LAB
株式会社アイ・グリッド・ソリューションズ

事業内容

■ GXソリューション事業

- 中規模太陽光発電の設置と再エネ売電を中心とするGX化支援各種サービス
- 太陽光PPA事業（分散電源プラットフォーム）

■ 電力小売事業

オンサイトPPAモデルで国内首位

大規模発電に依存せず分散型の再エネ浸透を推進する

日本のリーディングプレイヤーです。

主要株主

エネルギー産業における巨大プレイヤーが株主として当社を支援

- 伊藤忠商事株式会社
- 関西電力株式会社
- J-POWER 電源開発株式会社 など

2021年11月19日

環境省 第9回グッドライフアワード

環境大臣賞 最優秀賞 受賞



2023年2月1日

令和4年度 **新エネ大賞 新エネルギー財団会長賞 受賞**



グリーンエネルギーを地域でめぐらせる





Non-FITの屋根上太陽光発電（PPAモデル）の活用



当社グループがお客様の建物屋根に太陽光発電設備を設置。発電した電気はその施設へ直接供給・消費し、お客様からは電力利用料をお支払いいただく仕組み。

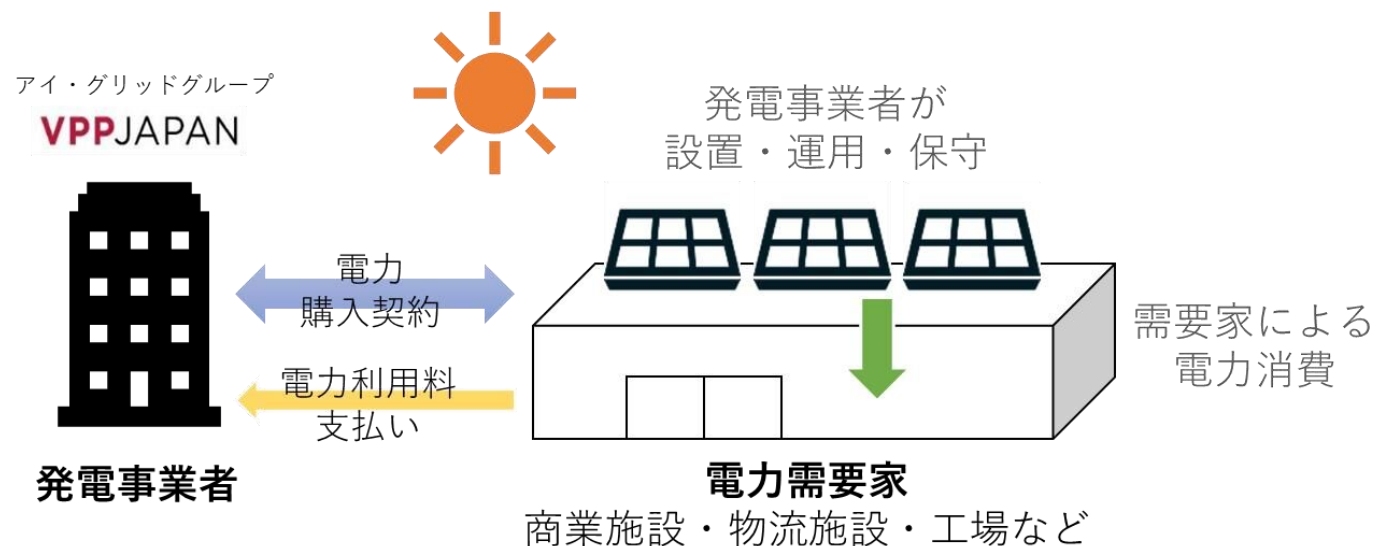
経済性と脱炭素の両立

初期費用ゼロ・
維持管理費不要

電力コスト削減
・長期安定化

追加性のある
再エネ調達

停電時の補助電源

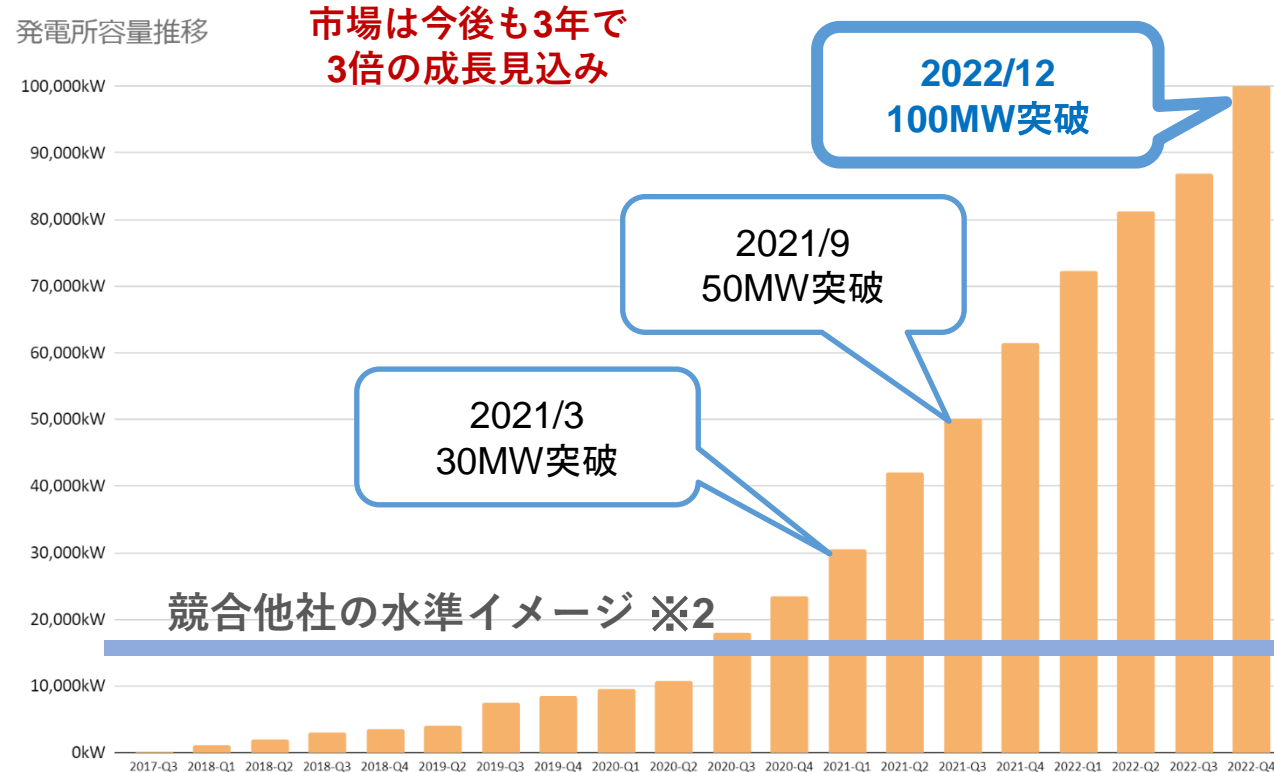


さらに余剰再エネはAIプラットフォームで需給調整を行い、地域内で循環活用



国内No.1のPPA実績

国内No.1※ 太陽光PPAモデル発電所 稼働実績
41都道府県 500施設 100MW
 契約ベースでは、**1,400施設 300MW超**
 (国内メガソーラーのトップクラスの容量を分散型で)

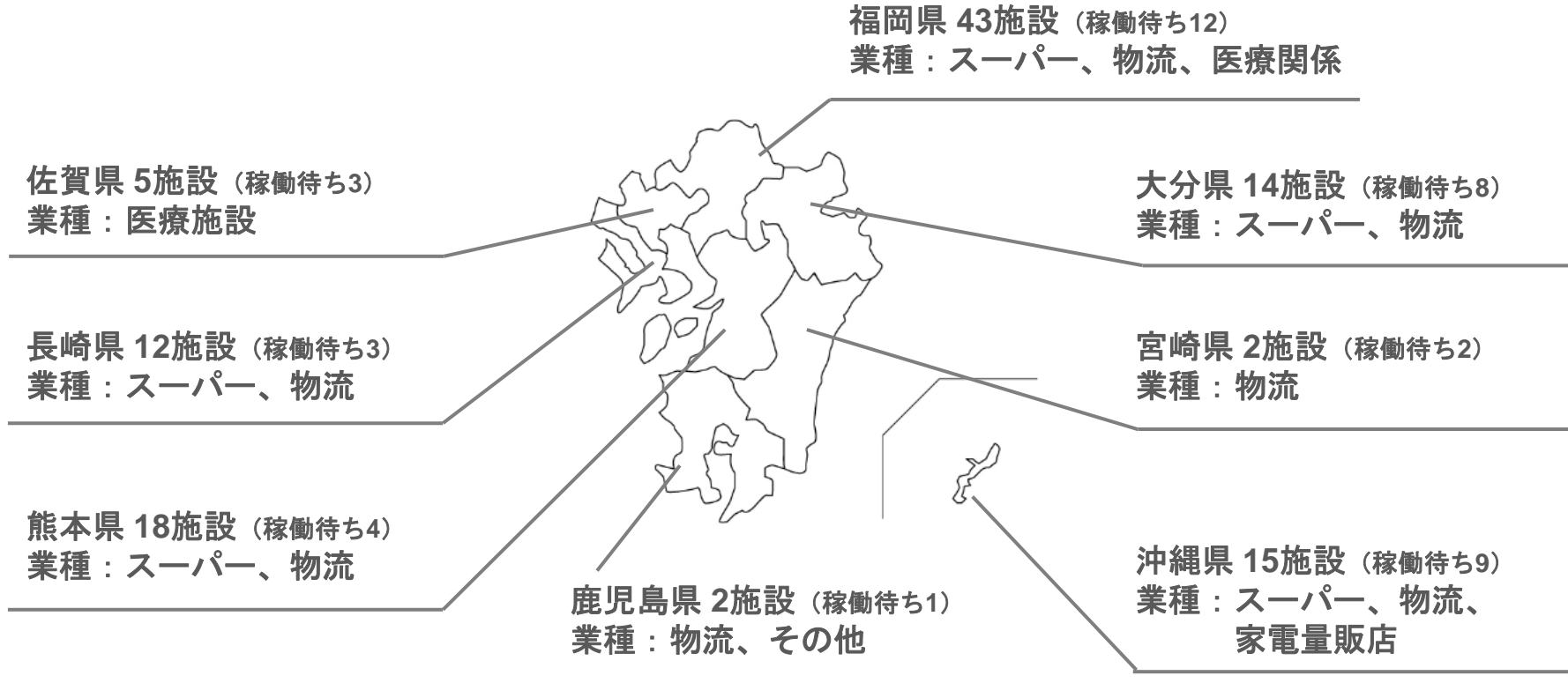
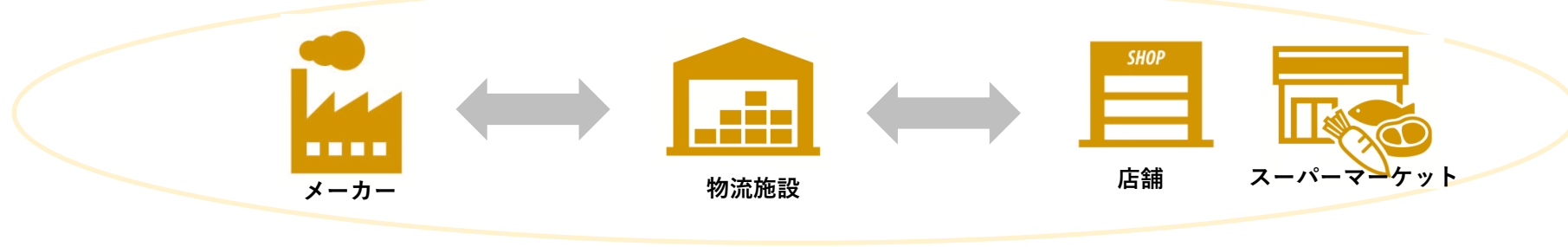


※ (株)富士経済 再生可能エネルギー発電システム・サービス市場/参入企業実態調査 2022
 第三者所有モデル (PPA、リース)・非住宅 (10kW以上)・2021年度実績



九州エリアでのPPA導入実績

サプライチェーン全体でカーボンニュートラルに向け推進





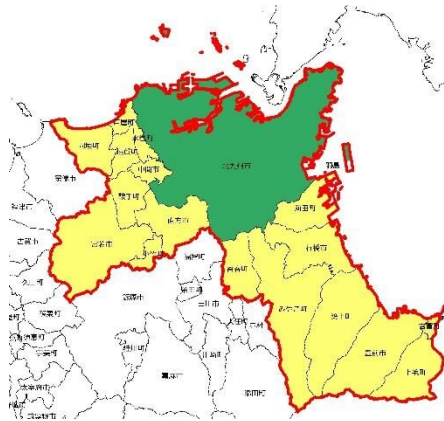
【事例】北九州市様 脱炭素先行地域でのPPA活用



太陽光・蓄電池の
第三者所有モデル構築
(北九州市公共施設)

北九州都市圏域 (18市町)

中小企業等



北九州市、直方市、行橋市、
豊前市、中間市、宮若市、
芦屋町、水巻町、岡垣町、
遠賀町、小竹町、鞍手町、
香春町、苅田町、みやこ町、
吉富町、上毛町、築上町

脱炭素化

×

生産性向上
(DX、ロボット化)

広域連携による再エネ導入拡大
出力抑制の低減への貢献

脱炭素化による競争力強化



【事例】イオン九州様 脱炭素ロードマップ策定支援

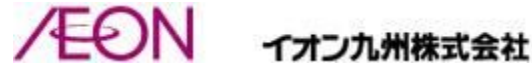
- イオン九州様は「イオン脱炭素ビジョン」に則り、2030年までに店舗使用電力の50%を再生可能エネルギーに切り替えること、2040年までに店舗排出のCO2等を総量でゼロにすることを目標としています。
- Scope1,2の排出量算定をはじめ、目標達成のためのロードマップ策定のご支援を実施させていただいております。

GXマネジメントサイクル構築	項目	支援範囲
	Scope1・2 排出量算定	<ul style="list-style-type: none"> ・社内の必要情報収集の支援 ・整理及び排出量の算定
	Scope1・2 ロードマップ策定	<ul style="list-style-type: none"> ・店舗毎や主要機器毎のエネルギー情報の可視化 ・目標達成のための削減計画 & 再エネ調達のロードマップ策定 ・追加GX施策のご提案
	Scope3 排出量算定	<ul style="list-style-type: none"> ・Scope3開示スケジュールの決定 ・Scope3可視化実行／支援(データ収集・定義)

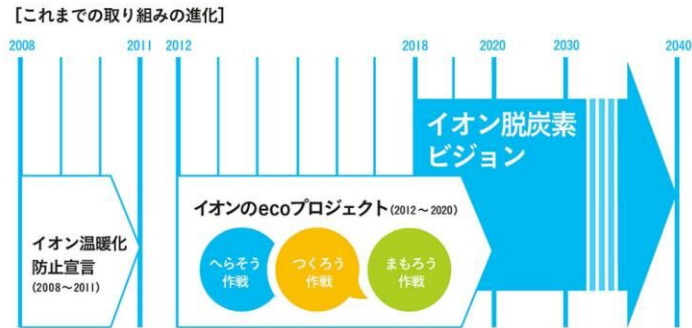
中間目標 2030年までに店舗使用電力の50%を再生可能エネルギーに切り替え(国内)

達成手段の考え方 イオンのCO₂排出量の約9割が電力由来 → 店舗使用電力の削減と再エネ転換

省エネ
再エネ



$$\text{再生可能エネルギー導入率 (\%)} = \frac{\text{再生可能エネルギー量(kWh)}}{\text{電力使用量 (kWh)}}$$



2021年7月改訂

再生可能エネルギー導入率を上げる方法例

- 再生可能エネルギー発電の導入(例:オンサイトPPA)
- 電力使用量の削減(例:省エネ設備への更新、省エネ運用改善)

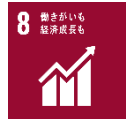


将来の目指す地域像：GX Cityによる地域脱炭素の実現

エネルギーの地産地消サイクルが新たな街の魅力になる「GX City」

GX City

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS



地域を100%再エネで運営
地域企業の商業施設、公共施設、
物流施設に太陽光発電＋蓄電池を設置。

全ての施設をネットワークで統合管理し、
地域内の再エネ比率を最適化。

エネルギー自給率の向上
様々な変動リスクを抱えた従来型電力システム
から、分散エネルギーシステムへ。

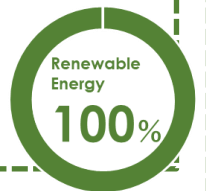
地域で作った再エネをその場で使う、
「エネルギーの地産地消」を実現。



街全体のレジリエンス強化
街中に設置された太陽光＋大型蓄電池シス
テムにより、災害時のレジリエンス拠点と
しても稼働。

EV／住宅への再エネ供給
地域企業で生み出された余剰再エネを
EVや住宅へ巡らせる。

グリーンエネルギーで暮らす、
新しい価値観を実現。



RENEWABLE

LOCAL



New Energy Partner

明日のエネルギーをあなたと創る

AGGREGATE

ECONOMICAL